

エコチル調査追加調査「アレルギーと腸内細菌の関連についての研究」 にご参加いただいている皆さまへ

いつもエコチル調査にご協力いただき、ありがとうございます。

皆さまにご参加いただいている追加調査「アレルギーと腸内細菌の関連についての研究」では、環境と子どもの健康に腸内細菌がどのように関わるかを調べるため、より幅広く研究を行うことになりました。そのため、当初予定していたアレルギー疾患以外に、炎症性腸疾患、肥満、脂質代謝異常、糖尿病、甲状腺疾患、発達障害、感染症などのさまざまな病態についても解析していきたいと考え研究計画を変更いたしました。また、腸内細菌を分析する研究機関に、早稲田大学理工学術院を追加しました。なお、この変更については、大学の倫理委員会の承認を受けています。

この研究では次のことを調べ、アレルギーをはじめとする子どもたちのさまざまな病気の予防につながる方法を探します。

- 1) 子どもたちのさまざまな健康状態と腸内細菌のバランスとの関わりを調べます。
- 2) 生活環境や生活習慣により腸内細菌のバランスがどのように変わるかを調べます。
- 3) 環境が子どもの健康におよぼす影響が、腸内細菌のバランスによって変わるのかを調べます。

この研究では、これまでに提出していただいた便をできるだけ有効に活用するため、2歳のときにお子さんの便を提供していただいたすべての方を対象とさせていただきます。今回の変更に伴って皆さまにご協力いただく内容に変更はありません。

この変更について、ご了承いただけない場合はご連絡ください。その場合でも、みなさまが不利益を受けることはありません。研究に関するご質問がありましたら、お気軽にお問合せください。ご希望があれば研究計画書をご覧くださいことができます。引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

正式名称：アレルギー疾患・アレルゲン感作と腸内細菌叢の関連に関する研究 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）追加調査として

富山ユニットセンター 研究代表者
富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座 教授
稲寺 秀邦

<問い合わせ先>
富山ユニットセンター
土田 暁子

Tel. 076-415-8842 FAX 076-415-8843
E-mail : ecojimu@med.u-toyama.ac.jp